

春浦宗熙・実伝宗真『籌子』の解題と翻刻

岡 本 真

はじめに

戦国期の日本における大徳寺派の勢力の伸長と展開において、同寺第二六世養叟宗頤の法系に連なる者たちの果たした役割は多大だった。その筆頭が養叟の法嗣である同第四〇世春浦宗熙で、大徳寺四派のうち真珠派以外の龍源派（南派）・大仙派（北派）・龍泉派は、いずれも彼の法系に連なっている。また、その春浦の法嗣が同第五六世実伝宗真で、龍源派の祖東溪宗牧と大仙派の祖古岳宗亘は、ともに実伝の法嗣である。

この春浦と実伝の二人について飯塚大展氏は、比丘尼五山や足利將軍家、多賀氏、室町幕府奉行人の飯尾氏や松田氏、細川京兆家や同典厩家、堺商人など、外護者とのかわりに⁽¹⁾について指摘した。このうち特に、春浦・実伝の居所であった養徳院と將軍家・比丘尼五山とのかわり⁽²⁾は、川本慎自氏や高鳥廉氏が論じている。また大徳寺と堺商人とのかわりに⁽³⁾についてはすでに多くの指摘があり、最近では綿貫友子氏が、春浦の塔所である松源院の祠堂錢運用への、堺商人の関与を論じている。⁽⁴⁾ こうした研究動向のなかでは、日記類や語録、古文書などが用いられてきた。しかし、春浦や実伝が個々の外護者との間に結んだつながりがいつ頃にはじまるのかは、右の史料のみからでは必ずしも明らかでない。

い。また、特に大名被官や商人のように、他に傍証となる史料の少ない人々については、どのような人物なのかさえも明らかでないことが多い。そして何より、こうした史料に記された人々は春浦・実伝に帰依した者のうちのごく一部にすぎず、その全容をうかがい知るには不十分である。

本稿で取り上げる春浦宗熙と実伝宗真の取名帳『籌子』（以下、本書）は、その欠を補い得るものである。大徳寺第七三世東溪宗牧の塔所である同寺の龍源院には、本書、東溪の『麴籌』、そして東溪の法嗣で同第七九世悦溪宗恂の『籌子』の、三冊の取名帳が所蔵されている。このうち本書については、一九二六年に開催された第一二回大蔵会展観の目録に記載されており、観覧に供されたことがうかがえる。⁽⁵⁾ だが、管見の限りでは、ほかの二冊も含め、これまで研究に活用されてきた形跡はなく、内容も知られていないようである。

そこで本稿では、本書の概要紹介と翻刻をこころみたい。紙幅の制約から、本書の記載内容についての解説と検討、およびほか二冊の翻刻紹介については、別稿を期すこととする。

一 取名帳と「籌子」

取名とは法諱を与えることを指し、安名とも言った。本来は得度し受衣・受戒する者を対象とした行為だったが、時代の経過とともに、より広汎に信仰をあつめる目的もあつて、出家していない在俗者をも対象として、師僧や教団が入信を受容した際に、なされるようになった。取名の際には法諱を紙にしたためたものが作成されたため、その墨書を指して取名ないし安名と言うこともある。取名帳は、こうした取名に関する師僧や教団側の手控えと考えられる。

取名帳の類例はあまり知られておらず、前述の龍源院所蔵の三冊以外に、管見の限りでは天正五（一五七七）～慶安二年（一六四九）の内容を有する真珠庵所蔵「処々道号取名留帳」が知られるのみである。⁶また、今日では所在不明だが、大梅山長福寺の開山月林道皎にかかわる取名帳が存していたことも、近世の記録から確認できる。⁷したがって、遅くとも南北朝期には、取名帳が作られていたということになる。

なお、一冊としてまとまった形にはなっていないが、悦溪宗志の四世孫にあたる、大徳寺第一〇九世督宗承董の雑記『活套』（国立歴史民俗博物館所蔵）には、「籌子」と題する一節があつて、永祿二（一五五九）～一〇年に授けられたとおぼしき六名の法諱と、その関連情報が記されている。これと、本書や悦溪宗志の取名帳がいずれも「籌子」という書名である点、そして後述するように実伝宗真から法諱を授かった人々が本書において「籌子」と表現されている点からすると、本書の書名である「籌子」は、一義的には法諱を与えた弟子のことを指すと考えられる。

二 形態

本書は、縦二四・五cm、横一八・一cmの一冊本である。ただし、特に前半には上下端の墨付の一部に欠失が見られる箇所があり、数mmほどが裁断されたものと考えられる。二本の紙縫で綴じられており、共紙表紙の左上部に「籌子」と直書され、右下部には異なる墨色で「二冊之内」「紙数六十四丁」と併記されている。この「二冊之内」という墨書は、前述の悦溪の『籌子』が同名書であるため、後世に二冊ひと揃いとして整理されたことをあらわしていると見うけられる。⁸

墨付は裏返しにまで及んでおり、それを含めると六八丁あるが、遊紙だったとおぼしき一丁表、五三丁裏および五四丁表の見開き、五五丁裏には墨付がない。表紙の小口側の一部が破損しているほか、全体にわたって若干の虫損が見られ、一部の文字は欠けているが、大部分の判読に支障はない。表紙～四六丁の上部には水濡れの跡があり、特に表紙から二丁までは、痕跡が下部にまで及んでいる。また、三八～四六丁の小口側にも水濡れの痕跡が存する。

三 春浦宗熙の取名記録

本文は、①春浦宗熙の取名記録（一丁裏～五五丁表）と、②実伝宗真のそれ（五六丁表～六八丁表）とに大別される。まず①について見ると、二丁表一行目に「次第不同」とある。本来はここが開始位置であつて、一丁裏の情報は追記されたものである可能性をうかがわせる。

二丁表二行目以降には、春浦が授けた法諱と、それを授かった人物にかかわる情報がひとまとまりとなつて記されている。情報は多彩で、人によって精粗はあるものの、出身地や本姓、性別、通称、道号、屋号（商人の場合）、俗縁、居所、取名の時期、取名の仲介者などである。法諱はやや大きめの字で書かれ、その下にやや小さめの字で、細字ないし二・三行の割書で、右のような関連情報が記されている。また、法諱と

同じくらしいの大きさの文字で道号が別掲されている箇所もあり、多くの場合は道号の周りが枠線で囲まれ、道号領も併記されている。⁽⁹⁾

法諱は、抹消や重複を含めて七九八点が記されている。また別掲の道号は、道号領をとまなっていないものも含めて三六点が記されている。

半丁あたり六〜八点ほどの法諱ないし道号が掲出されているが、八丁裏まではしばしば上下二段に分けて記されており、それにとまなつて法諱・道号の掲出点数も多くなっている。これに対し、九丁表以降は、二、三の例外をのぞいて一段に記されている。

関連情報として記される取名の時期のうち、もっとも早いのは5宗梁の享徳三年（一四五四）一月二一日で、もっとも遅いのは79宗勝および798宗清の明応三年（一四九四）六月一日である（以下、アラビア数字は翻刻に付した通し番号と対応）。春浦が同五年正月一四日に死去することを考慮すると、死の一年半ほど前までの、およそ四〇年にわたる記録ということになる。

①の成立や筆録の様子を考えるうえで注目すべきは、抹消されている18宗椿の記載内容が、43宗椿註のそれと一致する点である。前者が二丁表の最終行で、後者が三丁表の同じ箇所位置することからすると、本来三丁表にあったものを、筆写の際に誤って二丁表に記してしまい、抹消したものであろう。同様のことは、478・492宗賢などについても指摘できる。一方、それ以外の箇所では、複数の同日の取名の墨色や書きぶりが同じだったり、別の日の取名とはそれらが異なっていたりすることがまま見うけられる。また、関連情報の行幅が一定していなかったり、体裁が不統一だったりするなど、短期間にまとめて書き写したようには見えない特徴もそなわっている。そのうえ、単に写し間違いとは見なしがた

いような、情報の削除や訂正、追加も存する。

追加情報のなかで目を引くのが、地位や名乗りの変化などにかかわるものである。たとえば20宗統については、「首座」「今為大徳前住」という情報が存する。これは、もともと「首座」と記されていたところに、のちに一溪宗統が大徳寺住持となり、退院したことを踏まえて、情報が追加されたものと考えられる。具体的には、彼が大徳寺第五世として入院したのは文明一五年九月二六日で、次代の同第五世西浦宗肅の入院が同一七年一月二七日なので、⁽¹⁰⁾それ以後に「今為大徳前住」という追記がなされたことになる。

この他にも少なからぬ箇所に追記が確認され、なかには、377宗晃の箇所に「多賀兵庫殿」「今作中務少輔」「今号多賀遠江守」とあるように、複数回にわたって情報が書き加えられた者もいる。また、こうした追記のなかには、直前の文字列とは明らかに墨色や筆致の異なる箇所もある。それらは、本書の筆録の過程で、新たに書き加えられたものと判断される。

以上の特徴を勘案すると、①のもとになった底本が別に存していて、それを後年にすべて一括して筆写したというよりは、ある程度まとめて記入することもあったにせよ、基本的には折に触れて書き継いだものと考えられる。春浦自身か、あるいはそば近くに随時していた者が、取名の手控えとして情報を蓄積していったのであろう。

なお、本書中には、①が春浦の取名記録であることは明記されていない。だが、前述した取名の時期や、『春浦和尚金口説』『大宗禪師語録』など彼の偈頌等を取めたものに関連情報が見られることから、春浦の取名記録であることは明白である。

四 実伝宗真の取名記録

次に②は、さらにふたつに分けることができる。すなわち、①「大弘禪師所度之籌子大略」との見出しが付された五六丁表〜六四丁裏と、②

「文龜三年自二月至三月堺南北男女弟子」との見出しが付された六五丁表〜六八丁表である。このうち①について、実伝宗真を禪師号で呼称している点からすると、見出しは実伝自身ではなく後人が付したものと考えられる。本文には二〇五点の法諱が、半丁につき一〇〜一二点ずつ、一段に記載されていて、道号の別掲はない。法諱をはじめに記し、その下に法諱を授かった者の情報を記す点では①と同様だが、関連情報は基本的に細字や割書ではなく、法諱とほぼ同様の大きさの文字で、①よりも簡略に記載されている。特に取名の時期は、899宗牧と863宗繁以外は記されておらず、本姓も多くの法諱に関して不記載である。見出しと本文とが同一人の筆記したものかどうかは判別しがたいが、情報に追加の痕跡がほとんど見られない点や墨色から判断して、別に記してあった情報を、比較的短期間にまとめて書き写したものの可能性が高い。

一方、②については、見出しからすると、文龜三年（一五〇三）の二・三月に堺で取名した弟子の記録ということになる。記載内容が①に比して簡略である点や、道号の別掲がない点は①と同様だが、こちらは上下二段になっており、一行あたり二点の法諱が、関連情報とともに記されている。半丁あたりの記載数は規則的で、一行分の見出しの存する六五丁表には一〇行二〇点、それ以降六七丁裏までは半丁につき一一行二二点、最後の六八丁表には六行半一三点、合計で一四三点が記されている。このように整然と記されている点や墨色、筆致などから、①と同様に②も、別に記してあったのをもとに、比較的短期間にまとめて書き写したものであるように見うけられる。なお、①と②は、いくつかの字において共通の癖が認められ、同じ人物が筆記したものと判断される。

③の末尾には薄墨で「永正四丁卯四月八日亥刻示寂」と記されている。『大弘禪師語録』巻三に収録されている、常庵龍崇の撰した実伝宗真の行道記によると、同日は実伝の命日である。

註

- (1) 飯塚大展「春浦宗熙と実伝宗真について」(『宗学研究』三三、一九九一年)、同「龍谷大学図書館蔵『大徳寺夜話』をめぐって(四)―研究ノート(中)―」(『駒澤大学禅研究所年報』一五、二〇〇三年)。
- (2) 川本慎自「室町期における將軍一門香火所と大徳寺養徳院」(義江彰夫編『古代中世の政治と権力』(吉川弘文館、二〇〇六年)、高島廉「室町・戦国期の大徳寺と尼寺―養徳院と曇華院との関係を中心に―」(『仏教史学研究』六三―二二、二〇二二年)。
- (3) 三浦圭一「中世民衆生活史の研究」(思文閣出版、一九八一年)、上田純一「大徳寺・堺・造明船貿易をめぐる諸問題」(『講座蓮如』第四卷、平凡社、一九九七年)、伊藤幸司「中世日本の外交と禪宗」(吉川弘文館、二〇〇二年)、高橋素子「中世都市堺成立過程における都市民の変容―開口神社を中心に―」(『お茶の水史学』四七、二〇〇三年)、矢内一磨「一休派の結衆と史的展開の研究」(思文閣出版、二〇一〇年)など。
- (4) 綿貫友子「中世後期の祠堂銭運用について」(『国民経済雑誌』二二七―三、二〇二三年)。
- (5) 『大蔵会展観目録 自第一回至第五十回』(文華堂書店、一九八一年)二二三頁。同書には「籌子」(写)一冊 大徳龍源院蔵「安名帳也、表紙二二冊ノ内、紙数六十四丁、箱書二曰大鏡禪師筆」と記され、つづけて大鏡禪師が悦溪宗志を指す旨の説明がなされている。一見すると悦溪宗志『籌子』のようにも見ええるが、記載されている表紙の情報からすると、本稿で取り上げる春浦宗熙・実伝宗真『籌子』と考えるべきであろう。
- (6) 『大日本古文书 真珠庵文書』九三号。同史料および真珠派下の取名については、注(3) 矢内書二二二―二三〇頁参照。
- (7) 東京大学史料編纂所蔵謄写本『長福寺寺記』。このほか、取名帳かどうかは不明だが、夢窓疎石の門人帳の存在が指摘されている(玉村竹二『夢窓国師―中世禅林主流の系譜―』平楽寺書店、一九五八年、二五七・二五八頁、芳澤元氏のご教示による)。

- (8) 龍源院所蔵「龍源院校割帳」（天文一九年七月晦日付）に「籌子二冊」とある。京都府教育委員会『重要文化財龍源院本堂・附玄関・表門修理報告書』（京都府、一九六六年）三九頁。
- (9) ただし、道号や道号頌が、法諱の直下に他の関連情報と同様に記されている場合もある。

- (10) 『御湯殿上日記』文明一五年九月二六日条、同一七年一月二二日条。

〔付記〕史料の調査と翻刻をご許可くださった龍源院ご住職東文洋氏にあつく御礼申し上げます。本稿は「SPS科研費」P25K00493の助成を受け、たもので、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター・禅宗史料画像研究プロジェクトの成果を含みます。

【翻刻】

凡例

- 底本には龍源院所蔵本を用いた。
- 文字はおおむね常用字体に改めたが、一部は底本のままとした。
- 改行はおおよそ底本にしたがったが、組版上の制約のため、改めた箇所もある。同様の理由から、傍書や割書にも配置を改めた箇所がある。また底本で割書となつている箇所の一部は、意をもって改めた。
- 空白は適宜追い込んだ。
- 読解の便を考慮し、読点・並列点を適宜加えた。
- 各丁の表裏の一行目の行頭には、丸括弧を付して丁数と表裏を記した。
- 掲出されている法諱等には、抹消されているものも含め、アラビア数字を用いて便宜通し番号を付した。道号や道号頌が別掲されている場合には、道号のみものも含め、同様にアルファベットを付したが、法諱の下部ないし傍に付記されているものには付さなかった。
- 校訂注は本文の脇に「」、人名・地名注は○を付して示した。
- 墨色や筆致が異なる等、後筆と思しい箇所もあるが、弁別が難しい箇所も少なくないため、その別は注記しなかった。
- 挿入符等の符号により文字の移動や挿入がなされている場合は、それを本文に反映し、符号は省略した。ただし、通し番号472と473の箇所については、本文中の注記とかかわるため、文字の移動を反映せず、符号もそのまま存した。また、合点は＼と／で示した。
- 虫損や料紙の裁断による判読不能文字は、□で示した。
- 右以外の判読不能文字や書きかけて翻字しがたいものは、■で示した。
- その他、説明を要する事柄は割注とし、冒頭に○を付した。

〔表紙〕

籌子

二冊之内
紙数六十四丁

〔1〕〇墨付
ナシ

(1ウ) 1 佐束修理 2 伊藤掃部

3 小八木入道、宗金不記名、大徳住持日、

4 宗裔書記、清泉寺平安城、藤氏、長祿三年戊寅正月初吉、文正元年六月八日逝去、丙戌

(2ア) 次第不同

6 宗勤書記、道号桃溪、

8 宗匠書記、道号正翁、

10 宗範喝食、尾州、

12 宗信、同女房、

14 宗栢、祖庭阿州、藤氏、今孫右衛門、

16 宗歆、同、同妹長祿三十九月十五日、二四五九

18 宗椿、千若同日

(2ウ) 19 宗祥、池田伊賀文明二十二月十七日逝去、二四八〇

21 宗栢、在海部孫二郎、阿州人、在前、

A 秀漢、道号、妙元大師丹州人事、同十一月十六日

23 宗慶、河州人、慶侍者、

B 秀溪号、嶺松落々、礪水翻々、着実行履、戴断紅塵、

24 宗了、撰州人城福寺看坊、

二冊之内

紙数六十四丁

25 宗忻、瑞雲庵喝食、長祿三臘八、

27 道円、和州人、三郎、同日、力者

29 宗善、三川人、加藤、

(3ア) 31 宗金、泉州人、増珍第二子、同四年参月廿八日

33 宗寿、阿波細川一家、同三年三月九日

35 宗清、江州上坂大西内、同年同日

37 宗歆、〔悦江〕本州人、源氏、佐々木五郎右衛門、同六年六月廿一日、隱岐〔清秀〕

寛正四年正月晦日、

39 宗昌、〔桂室号〕本州人、中原氏、多賀与一、同、在雲州、紀伊守子息、多賀清忠

41 宗堅、〔出雲〕本州人、藤氏、つ、み又二郎、

43 宗椿、〔藏〕千若、同日、

(3ウ) 45 宗円、四月九日、桃宮、

47 宗清、尾州、源氏、一色内、小笠原、寛正四年孟夏廿一日

49 宗済、三州、坂上氏、市、同六月十三日

51 宗真藏主、〔実伝〕三州人事、藤氏、同八月廿七日、今八首座、

53 宗妙童子、〔上池院次男〕道号女津、藏上池院次男、藏藏

55 宗意、〔藏〕由木二郎左衛門内、長祿元年十月五日、

57 宗勝、〔前波美教〕北村、武衛之御内物、十月八日

59 宗琳、〔林〕舟尾屋女、道号梅室、有頌、康正二年臘月十七日

(4ア) 61 宗用、〔本州〕寛正二年十一月、

26 宗越、〔紀州人〕藤氏、同年同十八日、

28 道満、〔丹州人〕同日、七郎、

30 宗簡、〔舟尾〕津州人、彦三郎舍弟児、長祿四年三月廿日、彦五郎、

32 宗琳、〔津州人〕田井村、道号玉浦、二四六

34 宗祥、〔江州性通庵〕小比丘尼、同廿二日

36 宗玄、〔同国〕祖芳房舍弟僧、同年同日

38 宗性、〔馬廻〕平安城、藤氏、六角内マツ子族、同六年六月廿四日、長楽之庵主、

40 宗勝、〔雲州人〕中原氏、多工彈正、多工隱岐殿、寄子、同

42 宗桂、〔本州人〕神氏、牛尾小二郎、

44 妙智、〔卜〕千若母、

46 宗昭、〔惠深〕同十一月、深居士女、

48 宗玄、〔久兼〕平安城、伴氏、富永弥六、同六月十三日

50 宗俊喝食、〔文正丙戌十二月三日、作比丘尼、平安城、内藤女、南殿、同六月廿一日、利首座同道、下吉良義藤

52 宗永、〔河州人事〕源氏、同九月五日、クサカト云、

54 宗建侍者、〔撰州人事〕同九月廿二日、

56 宗珠、〔同子〕

58 宗玄、〔甲州〕同月同日、

60 宗簡、〔舟尾屋弟〕在、前、

62 宗利、〔野州居住〕平氏、内藤、京極方牛尾將監同道、寛正四年十月十九日

135 宗播、阿州人、族姓佐東、比丘尼、同三月十四日、歿首座喝食、

F 要室

正印首座、道号、イタミ人、素雅号、命似聖室、并矢小傷証焉云、朱点御處、三玄自彰、這般門戶、誰敢升堂、寛正第七丙戌初春下瀨日、

G 自翁号

宗性庵主道称、以梅以愧、常絶已躬、老而益健、嬰鏤論功、寛正六年小春日、在池田、

(7才)

136 宗賢、雲州人、神氏、名字、牛尾彦衛門、高宮越中同道、文正元年仏誕生日、

日 柴林

智折首座雅号、并有一偈、々曰、奕葉繁茂、雨露恩光、何普濟北、為藤為涼、文正元年孟夏十三日、

137 宗寿

本州人、藤氏、濟藤五郎兵衛女、喝食、文正元年孟夏十三日、

138 宗蕃

阿州、源氏、讚州之内、西条殿、同五月八日受衣、

140 宗育

賀茂氏、書記、在清泉、同六月廿三日、文明十三年三月廿九日逝去、

142 宗正

信濃人、神氏、牛尾、大石、同七月十日、將監殿同道、

144 宗栄

因丙戌仲秋五日、同丙戌仲秋五日、源氏、山名一家、

(7ウ)

146 宗英、伯州、藤氏、在清泉寺、文正元年八月十六日、藏主、

147 宗菊

本州人、源氏、山名宮田兵庫殿女、芳林庵同道、日野豊後御伴、文正元年十二月七日、此日落髮、統首座為伴、在休耕院、

148 宗寿

阿州人、アマリ殿、同十二月廿一日、

I 心月号

宗安禪人、道称曰心月、頌云、坂東屋弥三郎、宗椿ノ兄、本無所住、相印全提、孤円影冷、任運落溪、

149 宗清

本州、通玄寺、水首座同道、文正二年二月四日、藤氏、

150 宗俊

本州、源氏、当院僧、同正月廿日、

151 宗蕃

本州、藤氏、当院僧、還浴、同三月廿一日、

152 宗源

本州、同十二月廿九日、溝口ノ女、喝食、

153 宗堅

般、津州人、当院僧、今作監寺、道号一江、有頌、

(8才)

154 宗幸、山名方女人、同三月十五日、蕃首座比丘尼同道、

155 宗芳、同、

156 宗正、同下女、

158 宗光、赤田、同七日逝去、同四月一日、道号月浦、

160 宗慶、平安城、源氏、山名治部大輔女、同四月十三日、安清院同宿、喝食、

162 宗幸、同日、安清院同宿、喝食、同日、就陽徳院書之、

丁 慶雲号、倫祐首座道号、安清院成敗同宿、同日、

163 宗寿、本州人、旧名菊若后作僧、本州人、三善氏、吉田彈正、三宝院奉公、

(8ウ)

164 宗怡、本州人、同四月十六日、

K 同道号悦溪、頌云、風波不驗、手舞足踏、折然破顔、虚碧漆処、翻水如藍、

166 宗林、玉蘊庵小僧、同四月廿三日、

168 宗功、本州人、秦氏、山名彈正殿御内、同五月十四日、池田、

170 宗勝、本州人、中原氏、多賀守二郎、紀伊守子息、同五月十八日、道号文浦、

172 宗高、尾州人、源氏、奉公河内殿、同六月廿四日、民部少輔、

174 宗盛、太平寺三左衛門、尾州打死、同七月十七日、

(9才)

176 宗麟、ヲカニ屋喜四郎、河州、平氏、水麟二番子、道号祥室、

177 宗俊、妙瑞庵喝食、紀州小嶋人、

178 宗栄、田井村弥五郎、泉州人、源氏、

179 宗琳、泉州南庄、源氏、高石屋良親孫、

180 宗寅、泉州人、凡氏、能登屋族、

181 宗観、高石屋主計、源氏、道号月浦、

182 宗椿、坂東屋弥四郎、津州、藤氏、

157 宗栢、源氏、山名治部大輔、逝去、

159 宗貞、山名同妹治部大輔殿妹、

161 宗芳、同、源氏、山名同妹治部大輔殿妹、

同日、安清院同宿、

165 宗玄、玉蘊庵、

167 宗琇、因州人、山名下野殿女、

169 宗勝、同、同、同子息与一殿、

171 宗讚、性通庵喝食、上坂、

173 宗儼、道号敬叟、宮内卿法眼、

175 宗欽、池田小五郎、利首座之親類、

183 宗林、二位乳母、大福同道、

(97) L 大年

(宗極)
同道号須云、楊億金機姓字高、祖宗千載仰英豪、他家自有長生訣、鶴背乾坤寿域牢、

184 宗明、平安城人、藤氏女、宗祐女、天王寺橘屋内、同年六月廿六日。

185 宗観、平安城人、増珍之内、同二年八月廿三日。

186 宗賢、泉州人、中原氏、名字ハ春木、道心、磯上、名字、同閏十月一日、此日剃髮、

187 宗満、同、中原女、同落髮、

188 宗成、津州、藤氏、和氣屋、同閏十月七日、三郎兵衛、

(10材)

189 宗成、江州、伴氏、富永兵部少輔、吉良殿御内人、応仁二年閏十月十五日、

190 宗盛、平安城、三善氏、飯尾大和、奉行也、同十六日、後改作宗勝、

191 宗繁、(桂昌)平安城人、源氏、村上掃部助、修理助一族、同、

192 宗幸、(細川政国)参州人、源氏、小林、典厩御内、同十九日、

193 宗蕃、平安城人、源氏、小林源左衛門尉、小林子息也、同十九日、

194 宗安、(宗純)参州人、伴氏、渡島彦左衛門、同十九日、

(10ウ)

195 宗性、コノムラノ六郎二郎、応仁二年閏十月廿八日逝去、(筑)筑前州人、宗氏、(宗純)宝珠院医道弟子也、同十九日、(宗純)鶴書記同道、

197 宗因、平安城人、紀氏、モミイ、等護同道、落髮、同十月晦日、

M 通 運 翁 号、(宗純)廊爾無礙、一以貫之、老々大々、用得過時、利玄居士号、宗昌親、

198 宗清、泉州人、源氏、木嶋殿、(宗純)応仁二年十一月十四日、

199 宗金、(宗純)鶴原女房達、チャク、同日、

(11才)

200 宗晃、(宗純)応仁二年仲冬廿八日、比丘尼喝食、少林寺回春請之、

201 宗敦、(宗純)妙雲、敦首座、

202 宗慶、(宗純)佐東六郎左衛門、修理子也、阿州人、道号喜雲、

203 宗勝、(我孫子)泉州人、藤氏、堀倉次郎、アヒコ屋、文明元年六月十三日、

204 宗深、(宗純)阿州海部人、橘氏、野口七郎左衛門、同六月十四日、

205 宗鷲、(宗純)文明元年八月九日、旧名朔、改作鷲、

206 宗林、(宗純)泉州、源氏、少林寺、旧名正林、改作此、在陽春、同八月十二日、

207 宗幸、(宗純)天王寺人、旧名善幸、為行者、今作僧、同七月十一日、

(11ウ) 208 宗信、(宗純)泉堺北、藤氏、作比丘尼、泉屋道永女、文明十月十一日、

209 宗閑、(宗純)津州、藤氏、藤五郎、嚴量子、道号雲岑、同閏十月十四日、長享二年七月十日死去、

210 宗音、(宗純)河州人、藤氏、的庭ノ女中、文明元霜月十八日、

211 宗雲、(宗純)中村新兵衛、一岐道号云無二亦無三孤峰青未了試、同十月日、(宗純)凌絶頂看眼底衆山小、一岫道号、

212 宗成、(宗純)泉州人、堺南、源氏、舟尾民部、彦三郎イトコ、同十二月八日、

213 宗秀、(宗純)津州堺北庄、道祐子、辻助五郎、文明二年正月廿四日、少林寺回春同道、

214 宗金、(宗純)通玄寺妙首座同宿、比丘尼、同三月五日、

(12才) 215 宗明、(宗純)江州人、藤氏、中坊、目医師、同三月廿七日、

216 宗祐、(宗純)泉州、藤氏、泉屋道■子息、龟松、祐字家伝、同四月八日、

217 宗閻、(宗純)山城州、紀氏、宗閻書記、文明十五年三月十日円寂、同日、

218 宗徳、(宗純)泉州女、道号馨室、建侍者請之、同日、

219 宗普、(宗純)妙歛院喝食、同十四日、

220 宗明、(宗純)津州、藤氏、宗琳母、高石屋、同十五日、

221 宗怡、(宗純)平安城人、中原氏、豊州子、与一殿、文明二年庚寅四月廿三日、

(12ウ) 222 宗香、(宗純)今ハ新左衛門、同、中原氏女、豊州之女子、チャク、同日、

223 宗貞、(宗純)同、同、チャチ、同日、

224 宗清、(宗純)同、同、同、チャア、同日、

225 宗為、(宗純)雲州人、藤氏、大吉、豊州内人、同廿八日、

226 宗泉、江州人、竹田五郎、同、藤氏、家在大將軍、為人道、
同同日、

227 宗韶、平安城人、平氏、藏主、為首座、道号陽峰、
文明二林鐘五日、

228 宗盛、江州人、源氏、室屋二郎左衛門、慶源喝食父、順書記旦那、
同六月十七日、
（宗顯）
（運知客）

229 宗堅、平安城人、勝部氏、矢野入道、韶藏主同道、
同八月六日、同落髮、
（龍峰宗韶）

(13才) 230 宗一、平安城人、勝部氏、河瀬彈正忠、韶藏主口入、
同八月十日、道号江雲、

231 宗欽、本州人、平氏、道号新三郎、同、
同八月十日、道号折溪、

232 宗泉、本州人、高宮九郎子、新五郎、平氏、
同同日、道号巨源、

N 江雲、宗一居士請之、老胡渡去一芦輕、万頃澄波如練清、
得謂浴々擊雨色、湘潭影尽暮山橫、

O 折溪、宗欽居士請之、自堪怡悅少人知、隴上看雲咲展眉、
竹密不妨流水過、終掃海去渺無涯、

P 月浦、善照居士原又八請之、万里無雲取玉兔、長沙踏倒憶
曾年、曲終江上無人會、秋在芦花淺水辺、

(13才) Q 巨源、高宮新五郎宗泉居士請之、
一条緑水大江橫、遠自曹溪流出清、波面無風荷葉動、
看々決定有魚行、

R 利翁、矢野入道宗堅居士請之、英靈底漢、如養盛難、
老來用去、只管由之、

233 宗濟、京極六郎殿、平安城人、源氏、
文明二年庚寅九月二日、

S 巨川、同、源深流遠勢滔々、水長方知船自高、万派終掃
滄海去、蒼龍蟠処作波濤、

234 宗光、本州人、中原氏中原氏、藤堂、
同同日、同道号、

(14才) T 月舟、改作漢、海嶼雲開玉一團、滿船柱
放纜先知水脈寬、一篷蟾影為誰寒、四溟無限明
於昼、依旧衰翁把釣竿、
（龍峰宗光）

235 宗芳、本州人、中原氏、藤堂二男、与次殿、
同同日、

U 桂林、二株金粟久昌々、公案現成難覆藏、千眼大直看
不破、和風和露送天香、
（龍峰宗芳）
（根此広寒）
（月窟託根）

236 宗安、坂本之民部、宿処八坂本、
同年同月十六日、

237 宗貞、同女房、同年同日、

238 宗清、運知客、仲源喝食母、江州、次郎左衛門女房、今八運知客、
同日、長享年十月逝去、順首座妹、

239 宗琳、撰津州、藤氏、妙瑞庵、
同年小春三日、

240 宗玉、播州人、橘氏、同比丘尼、
同同日、

(14才) 241 宗照、津州人、藤氏、同照侍者、妙瑞、
同同日、
（宗顯）
（首座）

242 宗春、堺南庄人、高石屋主計之内、源二郎母、
同年同小春五日、
（高田宗春）

V 友溪、大中大夫刑部大輔正益、姓紀氏、居序亭而泉石鍾愛矣、今茲齡七十四、日
夜殷舟三味勉旃、家譜得瓜葛、繇是就余索雅号、々曰友溪、俚偈以為贊云、
惇々切々又拾々、讀社同盟慕遠持、唐田遊岩故事、泉石膏盲、煙霞鏽疾、
清淨心源便樂土、請看更有截流機、詳韻府疾字処、
文明第二祀庚寅小春下瀨日、

243 宗易、江州人、官副寺、模書記請之、
同三年三月十三日、

(15才) 244 宗堅、本州人、藤氏、泉屋孫、
文明三年四月廿一日、

W 香溪、承梅侍者雅号、和氣屋出入之僧、
芳名兼美譽、取道德惟馨、欲命広長舌、
請聽流水声、同月廿一日、

245 宗馨、江州人事、藤氏、田中又四郎、吉田彈正殿知音、
文明三年五月二日、ヨリカ、リ屋之舍弟、
（宗怡）

246 宗円、道号月囀、道沈孫ムコ、文明三年夏五月初三日遭金化之難、
（龍峰）

247 宗珠、平安城人、某氏女、貞養庵兄弟、妙瑞庵請之、
文明三六月一日、

248 宗忻、文明三六月七日、安清院同宿、首座也、
宗慶比丘尼請之、山名治部大輔殿女宗慶也、首座也、
（宗慶）

(15才) 249 宗秀、主計殿子源二郎、逢害、

250 宗泉、本州人、藤氏、佐竹治部少輔殿后室、
文明三年十一月十三日、

251 宗英、津州人、藤氏、藤五郎養子、御千代、
同年仲冬廿七日、

252 宗信、（惟心）
同、同、大炊殿子、御才、

253 宗晃、（明江）
同、同、同第三、才鶴、作藏主、

254 宗繁、泉津州、弓削氏、小村藤衛門、
同年同臘月日、

255 宗受、阿州人、佐東修理ノ女、薰藏主処有之、
文明四年二月三日、

256 宗登、（禪穎）
津州人、藤氏、福原東光寺、旧名頼藏主、改作登、
文明四年二月九日、

(16材) 257宗貞

津州北庄、妙瑞庵ノカコ、利首座同道、
文明四年二月九日、小次郎之内、

258宗三

津州上庄、平氏、国次ノ子新三郎、改作簡形、山名彈正殿御内人、
文明第四二月十三日、(政意) 登藏主同道、改作宗麟、作藏主、
江州人女子、鶴原女房達、今嫁人、
文明四年三月廿八日、

259宗瑞

江州人女子、鶴原女房達、今嫁人、
文明四年三月廿八日、

260宗祥

鶴原下女、
同同、

261宗瑞

海部、見秀庵比丘尼喝食、(実伝宗意) 真首座請之、
同同三月十五日、

262宗智

宗用妹ノ女子也、材木屋ノ女房也、
同同孟夏廿三日、
穎脱作略、如盛盛鎌、曹源一滴、具截流機、
同同孟夏廿八日、

又利溪

穎脱作略、如盛盛鎌、曹源一滴、具截流機、
同同孟夏廿八日、
紀州人、宗麟拳之、旧ハ有岳、臥竜同道、
同同廿八日、

(16材) 263宗岳

豊州人女子、豊後屋尼公同道、長慶寺慶上司引導、
文明四年七月十四日、

264宗盛

豊州人女子、豊後屋尼公同道、長慶寺慶上司引導、
文明四年七月十四日、

265宗源

津州人、藤氏、帶刀之子、弥三、(天王寺) 年ハ十七、宗觀之孫、臥竜同道、
文明四年七月廿九日、

266宗光

津州女子、(祖庭宗意) 可竹同道、剃髮、可竹之メイ、
同同七月廿六日、

267宗貞

津州北庄女、(池水) 岐雲口入、
同同八月十五日、

268宗春

豊後屋近付女、岐雲請之、
文明第四小春十七日、

269宗燈

羽州人、旧名周燈、改作之、藏主、
同同十月十六日、同請雅号、々々、

(17材) Y照庵

星原日月黒漫々、一点靈光満室寒、(高師意) 将謂龍潭吹燭滅、
和風搭在玉欄干、同日書之、
文明四年十月廿一日、名字ハ書記、在天王寺、
因幡人、本清院請之、比丘尼喝食、
文明四十一月七日、

270宗梁

本州人、藤氏、天王寺弥二郎同道、旧ハ兀庵派、
文明四年十月廿一日、名字ハ書記、在天王寺、

271宗光

因幡人、本清院請之、比丘尼喝食、
文明四十一月七日、

272宗瑞

同同、
同同、

273宗範

同同、
同同、

274宗善

平安城人、高科氏、モロナウ、モロヤスノ氏、(高師意) 太平寺三郎、
文明四年十一月七日、

275宗演

津州人、藤氏、天王寺帶刀子、在通源、宗觀比丘尼孫、
文明四年十二月廿七日、作時宗、

276宗春

阿波州、藤氏、海部將監、海部殿内一族分、
同同、

277宗満

南庄総代、新左衛門、(中村宗成) 和氣屋三郎兵衛殿同道、
文明五年正月廿五日、

(17材) 278宗忠

丹州山人、大野、(政意) 山名彈正殿内人、宗三同道、
文明五年二月十九日、

279宗椿

堺北庄女、榎木族、大野女房、
同同、

280宗光

本州人、藤氏、(東) 安藤五郎殿、鶴原同道、
同同三月九日、

281宗信

泉州人、藤氏、沢田、鶴原同道、佐竹殿御内仁、
同日、

282宗全

江州人、平氏、(多賀高忠) 豊州之依子長井同道、播州安丸内者浮氣、
文明五年四月八日、

283宗栄

本州人、藤氏、長井ノ女房、於湯山書之、
同日、

284宗徳

紀州人、藤氏、(中村宗成) 和氣屋三郎兵衛妹、在海崎、妙瑞同道、
文明五年五月三日、

285宗光

三州人、藤氏、貞一檢校、
同同五月九日、

(18材) Z龍江

同道号、
へキ屋、旧名聡金、
文明五季夏三日、
拏雲撰霧、吞却乾坤、水添意気、白浪伝々、
宗勝禪人号、洞院殿之僧、
作家慣職、千里凱歌、功成身退、老髮睡々、

a 決翁

宗勝禪人号、洞院殿之僧、
作家慣職、千里凱歌、功成身退、老髮睡々、

287宗善

阿州人、藤氏、富田、海部殿御内人、同野口同道、
文明五年六月廿三日、

288宗珠

兵庫人、宗連入道同道、
文明五年七月日、

289宗泉

居崇徳寺之地、同宗連同道、
同同、

290宗永

兵庫殿子息、夭折、
同同、

291宗泉

在南庄崇徳寺、越后僧同道、

292宗運

本州人、藤氏、海部孫衛門殿子、今在海部、孫二郎、
文明五年八月十日、文明五八月廿四日逝去、年廿三、

(18材) 293宗久

榎並住居、河州人、利藏主請之、名ハ弥六、名主也、妙高弟、
文明五八月廿六日、此日落髮、

294宗

本州人、藤氏、旧名寿珍、妙瑞同宿、玉同道、作首座、
文明五重陽日、

295宗栄

本州人、藤氏、高屋弥次郎、
文明五年癸巳十月九日、文明十一年己三月二日逝、

296宗貞

同弥次郎妻女中、
同日、

297宗昌

同弥次郎子、
同日、

298宗信

同弥次郎女、
同日、

299 宗利、同女、

300 宗正、二郎兵衛、高屋弥次郎殿原、

301 宗光、今橋、同、

302 宗春、岩崎、同、

303 宗臨、片山彦三郎、同、

(19才) 304 宗慶、弥太郎、同、

305 宗光、平安城人、平氏、京極殿御内、権六殿、道号明窓、

306 宗慶、四郎兵衛、豊後殿御内、藤氏、
■小八木 (多賀高忠)

307 宗運、本州人、源氏、京極殿御内、祖阿弥、

308 宗永、本州人、源氏、三沢弥五郎、

309 宗照、本州人、藤氏、西蔵与三、高屋弥次郎女中之弟、嶋田与三右衛門、
文明五年、長享二年七月十日死去、道号明江、

310 宗明、本州人、道号月溪、水輪離海崎、何処不清光、一滴曹源水、
誰知派脈長、京極殿御内、原又八、平氏、

b 明窓号、輝天輝地、玉兔太速、捲起疎簾、桂影滴席、
権六殿

c 松窓号、高屋、弥次郎女中宗真、千歳蒼翠、衝開碧空、当軒、
宗榮
大坐、八面玲瓏、

(19才) d 春溪号、高屋、弥次郎宗榮居士、慕道志切、出紙索雅号、々、
之運
万花吹香、幽谷野澗、更為誰開、具眼看弁、

311 宗寛、本州人、三善氏、飯尾次郎左衛門、讚州之御内人、
文明五年癸巳十月七日、於海部殿書之、
編川成之

312 宗永、本州人、深居士之女、
文明五年十一月日、

313 宗栄、津州女、喜四郎之女、平氏、在澄心庵、為喝食、
文明五年、臘月七日、

314 宗明、泉州女、藤氏、中村三郎兵衛殿女、
文明五年、臘月七日、
(宗成)

315 宗盛、泉州人、源氏、鶴原上郎養子、佐竹殿同、十生次郎、
文明六年三月六日、
ハフソ

316 宗金、豊後州、平氏、増珍家寓居、旧各塚、金上司、
同六年三月廿五日、
ノ名ハ均

(20才) 317 宗明、但州人、翁、一、貞一、弟子、
同五月五日、

318 宗長、平安城人、藤氏、西蔵ノ与三之子息、嫡子、嶋田、
文明六月五日、
(宗熙)

319 宗忻、津州堺北庄、大野ノ子息嫡子、
同五月十四日、
(宗忠)

320 宗心、平安城人、藤氏女、真藏主請、
同五月十八日、
(実伝宗忠)

321 宗繁、平安城人、藤氏女、同、
同同同、

322 宗昌、泉州、藤氏子、同、
同同同、

323 宗善、一向宗
津州人、平野太郎四郎、旧日ハ一向宗坊主、
同同廿一日、

324 宗悟、同、大郎四郎妻、文明十九三月上洛、子息名新五郎、文明十八年
同同同、二男与四郎、二月十三日為參禪上洛、

325 宗信、高宮越中子息、新四郎、平安城人、平氏、
文明第六五月晦日、

326 宗伝、江州人、平氏、大岡ヲウカ、京極殿ノ旗指、
同同同、
(飛鳥井)

327 宗貞、平安城北野人、藤氏、アスカイノ種族、京極殿ノ母儀、
文明六閏五月四日、
(多賀高忠)

328 宗高、平安城人、藤氏、上村、豊州内、
同同五月九日、

329 宗音、江州、猿樂、幸千代、
同同后五月八日、

330 宗透、江州人、源氏、横関、豊州内、
同同同、

331 宗勇、平安城人、平氏、壇穴宗左衛門、
同同同、
シハナ

(21才) 332 宗俊、慶光院比丘尼、
同同同、

333 宗人、中村彦岐守、
安貧居士、忠孝聞世、清白伝家、硯石窪樞草繩、
曾入余室受衣孟矣、一日來需宗人為諱、幻
為別稱、其願不可奪、乃從其請以命之、并矢
一祇夜、旆其義云、

e 八幻、八字、欠右辺、筆勢存左戻、木人觀六如、彈指
歷十世、
文明六季后五月十六日、

334 宗長、阿州人、源氏、小笠原兵庫、讚州内人、侍從殿同道、
文明六七月二日、

335 宗蘊、子州人、橘氏、名字ハ妻鳥、野州内人、中村同道、
同七月廿七日、
メトリ

f 茂林、宗蕃居士索雅号、々曰茂林、仍有偽云、阿州西条殿、
少室嫩桂、五葉聯芳、千古万古、是久昌々、海部女中之父、
文明第六仲秋廿三日、

336 宗正、木村妙觀院比丘尼、主計殿請之、
文明六十月十三日、

337 宗高、浅川、海部人、同十二月廿日、

338 宗円、中西カキ中尚、四郎五郎、

339 宗源、中原氏、本州人、多賀清忠紀伊守子、紀四郎、

340 宗祐、本州人、藤氏、一統宗統首座請之、藤林父、四郎二郎、

341 宗喜、河州女、妙高寺請之、三月十二日、

342 宗通、清送平安城人、清原氏、判伴門田八郎、鎌倉雜掌、

343 宗清、細川成之文明七年林鐘廿五日、長享元年六月十五日逝去、

344 宗長、阿州人、宗氏、北河隼人、海部殿御内人、

345 宗久、道号要室、實執侍者母儀、

346 宗浄、道号清溪、佐竹孫三郎、

347 宗意、道号栢岩、高屋妹、十九歳、末後与法号、文明八年八月廿一日、

348 宗勝、江州人、下笠、源氏、弥三郎、宗珠珠上司弟、

349 宗勝、平安城人、藤氏、小串次郎、大龍庵用首座同道、

350 宗正、多賀登孝吉井、豊後与一殿乳母之子、本州人、

351 宗善、西サイ小八木四郎兵衛弟、与四郎、江州人、

352 宗盛、太歳京極殿御内、平安城人、源氏、道号在別紙、

353 宗智、改作珊平安城人、宗功母、

354 宗賛、改作珊江州上坂人、菅氏、性通庵、作比丘尼、

355 宗禎、彈正藤東嫡子、討死、道号祥中、

356 宗光、平安城人、藤氏、在当院、

357 宗信、平安城人、藤氏女、深見女中、

358 宗源、本州人、源氏、回春之姪、喝食、

359 宗栢、祖庭堺人、栢上司、可竹軒、大機庵、

360 宗盛、若狭州宮内、名字濟藤、藤氏、五郎衛門、小浜人順書記請之、

361 宗昭、江州、菅氏女、青林庵比丘尼喝食、

362 宗金、宗祖江州女、祖隆房下女千代之息女、名龍、

363 宗節、書記山城州人、和州宗字知客請之、蓋為小童、作侍者□当院、

364 宗良、平安城人、賀茂氏、自牧庵同道、旧八坊官、梶井殿内、

365 宗賢、宗貞文明八年七月廿六日、尊菊殿子息、

366 宗均、実塚宗球平安城人、藤氏、吐田、宗功并球上知音、

367 宗琇、尾州人、藤氏子、球藏主請之、

368 宗祐、ママ堺北庄、細屋、音書記禮那、細屋大郎左衛門、

369 宗明、ママ天王寺内、女人、臥龍請之、

370 宗得、ママ堺北庄、永得庵坊主、

371 宗禎、道号祥仲、藤堂嫡子、与三、文明六年十一月四日、於隱岐逝去、

372 宗幸、安栖院比丘尼、名字ハ藏主、大田端次男ノ女、

373 宗栄、政盛平安城人、藤氏、藤民部殿、奉公、遠州段銭奉行、

374 宗春、政盛堺北庄、細屋源二郎、大郎左衛門弟、

375 宗才、改才作最道号云高峰、撒手懸崖上、衆山勢施時、躡雲凌絶頂、立者是孤危、

376 楚登、宗播州人、東光寺、登上司、在兵庫、

377 宗晃、宗多賀兵庫殿、今作中務少輔、今号多賀遠江守、

g 同道号心溪、祝意自流通、三里透月宮、伝々帰海去、
無水不朝東、
文明十年二月八日、

424 宗久、尾州人、橘氏、北村又五郎内方、
文明十年二月十六日、

425 宗音、平安城人、平氏女、允藏主母、名字ハトイ、
文明十年四月三日、夫者於江州討死、
留首座請之、
（高峰宗誥）
（細川成之）

426 宗勢、阿波人、源氏、名字ハ河南、讚州御内人、
同四月十三日、
功知客同道、
（宗功）

(28才) 427 宗玖、江州人、源氏、赤松殿内、安丸、珠藏主口入、
文明十年五月廿一日、於播州室討死、道号潤溪、
（宗珠）

428 宗昌、平安城人、平氏女、自坂本真首座引導、
文明十年八月廿日、

429 宗琳、平安城、藤氏女、中村息女、比丘尼喝食、七歳、
文明十年九月二日、

430 宗宣、平安城人、瑞光庵同宿、喝食、今作比丘尼、父ハ山名殿内ウツト云、色々奉行ヲス、
文明九年、

431 宗薰、同、瑞光庵喝食、是ハ山名殿内力屋と云、
文明九年、

432 宗玖、本州人、藤氏、西蔵息女、五歳、阿茶女、嶋田、
文明十年九月八日、

433 宗英、本州人、藤氏、同子息、千松丸、九歳、嶋田、
同、

434 宗受、本州、藤氏、西蔵殿原、三郎、
同、

(28才) 435 宗貞、
（松透）
本州人、藤氏女、中村宗繁禪門後室、
文明十年十月二日、此日落髮、

436 宗祐、市殿請之、旧ハ大用和尚弟子、依失却請之、道号徳溪、
文明十年十月十四日、
（義受宗徳）

437 宗育、尾州人、橘氏、興善院門徒、改請之、
文明十年仏成道日、
（漢宗義）

438 宗成、統首座請之、作沙弥、今ハ知客、
同十年同日、
（漢宗義）

h 同月号、宗成藏主大師、禎上司請之、
同年月日、
（漢宗義）

（素外）
太上一輪満、天辺玉作団、馬師曾玩弄、嶋影遍人衆、
（八郎清漢宗徳）

439 宗澄、本州人、石神氏、名字長野、功知客請之、伴門田殿傍輩、
文明十一年仲春十一日、
（宗功）

440 宗悦、本州女、藤氏、伴門田殿乳母、
文明十一年二月十六日、

441 宗慧、阿波女、櫛潭殿乳母、
同年月廿日、

442 宗超、阿波州女、源氏、櫛潭殿女中、
同年月廿日、

(29才) 443 宗純、津州人、兵庫人、東光寺登藏主請之、
同年月廿八日、
（高峰宗誥）

444 宗徹、作州人、菅氏、同登藏主同宿、年十五、
同年月廿一日、今作俗、

445 宗瑞、津州女、藤氏、吉松帶刀息女、在兵庫、
文明十一年三月三日、

446 宗守、平安城、藤氏女、在兵庫正伝庵、
文明十一年三月六日、

447 宗久、江州大原、堅海彦三郎、伴氏、臥龍同道、
文明十一年三月十三日、
（宗麟）

(29才) 448 宗幸、津州人、藤氏、幸都寺、在兵庫、
文明十一年三月十六日、
（宗麟）

449 宗盛、津州人、平氏、永麟子、和氣屋兵衛殿之甥婿、
文明十一年三月十六日、善四郎也、
（宗麟）

450 宗富、河州人、藤氏、小次郎請、
同年月同日、

451 宗春、細屋女房達、宗徳請之、
文明十一年三月十六日、

452 宗信、細屋女房達、同、
同同日、

453 宗観、津州女、安心請之、
同同日、

454 宗林椿、舟尾屋女中、本州女、藤氏、
文明十一年三月十六日、
（壽岳）

455 宗妙、津州堺南庄、凡河内躬恒氏、善居士息女、彦三郎母、
同同日、長享二年四月十日逝去、道号玄室、
（高屋宗善）
（松岡吉左）

(30才) 456 宗運、同善居士下女、普代、
同同日、

457 宗受、津州女細屋太郎左衛門女中、平安城女、
同年月十七日、

458 宗喜、津州女、細屋源次郎女中、
同同日、

459 宗珠、河州女、藤氏女、細川下女、
同同日、

460 宗浄、河州人、藤氏、細屋代官、
同同日、

461 宗清、泉州女、藤氏女、細屋之マ、
同同日、

462 宗泉、津州人、藤氏、旧能泉藏主、改作此、在陽春、落墮還俗、
同年月廿日、

463 宗繁、津州人堺南庄、藤氏、松岡彦三郎、名乗ハ吉方、太徳、
善慶雲孫、湯川女中兄弟、文明十一年三月十五日、
（高屋宗善）

(30才) 464 宗琳、濃州女、源氏、佐竹孫四郎姉、土生次郎女中、
同十一年三月廿九日、久首座同道、

465 宗明、津州女、理幸比丘尼ノ下女、於堺取名、
同年月同三月廿二日、
（マ）

- 466 宗長、備前入、平氏、柳潭殿被官、芝田藤次郎、同前同月六日、
- 467 宗存、江州入、平氏、楠木孫、在若狭雲光庵、旧名宗福庵、順書記請之、文明十一年四月十五日、長存侍者改之、
- 468 宗因、山城州、藤氏、一色殿内太平殿原、竹田主計入道、文明十一年四月十五日落髮、カスエ
- 469 宗運、山城州入、藤氏、明石新左衛門、越兄請之、同年同月廿三日、道号月溪、
- 470 宗定、平安城入、平氏、本_ハ得定、改作宗定、知客、文明十一年五月十四日、(宗正)
- 471 宗珉、山城州入、平氏、本名宗香、改作珉、旧日正翁弟子、文明十一年六月五日、
- 472 宗進、山城州、宮路氏子、柳潭殿請之、同年八月八日、
- 473 宗妙、阿波州、藤氏女、柳潭殿請之、前後有違改之、同年同月同日、
- 474 宗栄、平安城、藤氏子、中村桂芳之子、今作下笠之猶子、与次、文明十一年九月二日、
- 475 宗琇、江州入、同、与一之乳母、中村ノ家中ノ後見也、同年同月同日、
- 476 宗瑞、平安城入、平氏、(盛時)改作新九郎、備前殿子息、市殿同道、文明十一年九月十八日、(伊勢盛定)
- 477 宗甫、阿芸国入、近年寓阿州、改文甫作宗甫、藏主、梵財口入、同年九月廿六日、
- (317) 478 宗賢、平安城入、藤氏、奉行加賀子息、(斎藤基忠) 濟藤四郎、村上修理同道、文明十一年閏九月十五日、
- 479 宗俊、丹后州入、藤氏、一色刑部少輔殿御内仁、宗源海雲庵口入、同月同日、名字ハ富田、(上野政道) 上野殿事
- 480 宗智、丹后州、藤氏女、同海雲口入、同同、
- 481 宗勝、丹波州、源氏、山名宮田民部少輔殿、慶勝院口入、文明十一年閏九月廿四日、
- 482 宗福、本州入、清原氏、判門田殿親類、小島三郎、(八郎) 清原宗通、文明十一年十月四日、宗功知客口入、
- 483 紹鉄、平安城入、藤氏、岷侍者改請法号、同年仲冬々節日、(宗球) 宗球
- 484 宗玉、尾州入、藤氏、球上_{宗球}司舍弟、玉藏主、同年同月同日、
- 485 祥盛、三井入道殿、平氏、法名在御教書間、不改上之字、文明十一年仲冬六日、道号茂林、
- (321) i 茂林号并頌、在別本
- 486 宗春、山城州、藤氏女、大聖寺殿御同宿、授衣并落髮、正真庵同道、文明十一年霜月十三日、今為女房、

- 487 宗円、伊賀州入、源氏、仁木殿一族、蓮花院、頼首座同道、文明十一年同月十五日、上池院知音、左衛門督出入、(宗秀) 宗秀
- 488 宗善、(宗秀) 宗秀、江助五郎下人太郎、同霜月廿九日、(富山政長)
- 489 宗虎、日向州、藤氏、旧者周虎、改作宗虎、在当院、文明十一年臘月廿五日、(政兼) 宗虎
- 490 宗信、平安城入、源氏、一色上野又四郎殿、御方御所之言次三人之内、文明十二年二月九日、(宗兼) 宗兼
- 491 宗津、堺妙瑞庵喝食、海崎之女、同同二月十九日、(斎藤基忠) 宗津
- 492 宗賢、平安城、藤氏、奉行濟藤四郎、加賀子息、村上修理同道、文明十一年閏九月十五日、(斎藤基忠) 宗賢
- 493 宗喜、大聖寺禪藏主同道、女姪、同同十八日、(宗兼) 宗喜
- 494 宗簡、江州入、藤氏、安養坊、結城之西坊同道、文明十二年二月廿五日、旧名為感、改作簡、
- 495 宗林、平安城入、祇園社僧梅坊、道号春溪、文明十二年三月廿日、(正翁宗正) 宗林
- 496 宗春、(改作) 宗春、賀州入、藤氏、龍雲之徒弟、改作宗春、道号梅屋、文明十二年四月廿日、
- 497 宗信、堺、舟尾彦五郎舍弟、道号心月、有偈、同同月廿六日、
- 498 宗琇、永昌院宗雲侍者之母儀、妙瑞庵請之、文明十二年五月八日、(政道) 宗琇
- 499 宗寿、平安城入、源氏、上野刑部少輔殿、一色殿一族、又四郎殿親父、(宗兼) 宗寿、文明十二年六月廿日、
- (331) 500 宗祥、平安城入、平氏、安東平五郎、改祥作屯、(貞秀) 宗祥、同十二年七月十三日、
- 501 宗忻、江州西今村人、新兵衛弟、宗恩同道、同年八月七日、
- 502 宗巖、(改作) 宗巖、平安城居住、紀氏、閩書記姪、旧作樵夫弟子、今改請諱、文明十二年九月三日、(春) 宗巖
- 503 宗豊、江州入、藤氏、又七、桂芳舍弟、崇福庵同道、文明十二年九月五日、今作七郎左衛門、
- 504 宗秀、本州入、藤氏、鉄侍者妹、大藏御局人、文明十二年十一月十日、
- 505 宗永、本州入、藤氏、宗頼首座大姉之姉、同年同月十五日、
- 506 宗瑞、堺入、藤氏、江助五郎甥、名ハ藤三、北庄、(ヲイ) 宗瑞、同年同月十二日、
- (337) 507 宗翔、備後入、藤氏、旧名信侍者、改作宗翔、旧ハ桃溪同宿、在清泉寺、文明十二年臘月一日、
- 508 宗性、和州入、猿樂与四郎母、与四郎同道、(宗賢) 宗性、文明十二年臘月十六日、
- 509 宗珊、本州入、慶勝院比丘尼喝食、津国福井ノ女、文明十二年同十八日、

510 世紹、(宗統)兵庫人、麟威主親父、
文明十二年九月九日、

511 宗永、江州磯野人、小串殿女中、
文明十二年同廿一日、

512 宗永、飯尾(元運)大和殿御内の女、御乳母同道、
文明十三年十月十日、

513 宗芳、二宮与三郎姉、寿福庵之喝食、
同同同、

514 宗久、津州人、藤氏、福原之中宮彦三郎、朴侍者兄、
文明十三年二月廿七日、(高峰宗登)
(高峯宗登)

515 宗長、水津州、平氏、有在恒、麟威主請之、上庄人、
同同同日、(了リツネ宗統)

516 宗正、播州、明石新右衛門殿乳母、
文明十三年三月廿三日、

517 宗源、和泉州人、源氏、舟尾屋三郎左衛門入道、堺南庄、
文明十三年三月四日、彦三郎之兄

518 宗栄、平安城、藤氏、舟尾屋彦左衛門継母、
同同同日、

519 宗久、山城州津州、藤氏、海崎民部殿息女、喝食、
同同同日、妙瑞庵喝食

520 宗琇、津州人、藤氏、在北庄向上庵、宗俊口入、
文明十三年三月五日、

521 宗誠、平安城人、藤氏、奉行飯尾近江守ノ被官、八瀬河、
文明十三年三月廿八日、(任運)
忠節有感状、村上修理助同道、

522 宗芳、平安城人、藤氏女、宗嚴侍者乳母、
文明十三年四月一日、

523 宗貞、山城州、源氏女、一色上野又四郎殿女中、
文明十三年四月十五日、(政美)

524 宗智、江州、藤氏女、同女房達、
同同同、

525 宗利、山城州、某氏女、同女房達、
山城州、某氏女、同女房達、

526 宗玄、海部、比丘尼喝食、見秀庵観首座請之、
文明十三年夏廿六日、

527 宗徳、濃州、藤氏、塚原七郎、瑞侍者同道、日光寺、
同年同五月六日、

528 宗永、平安城人、旧名徳又、改作此、在当院、
同年同林鐘五日、

529 宗珊、尾州人、藤氏、岸ノ新五郎、仙侍者同道、還俗、
文明十三年七月五日、(枕妻)

530 是賢、越前人、源氏、(斯波義敏)武衛御内人、二宮与三郎殿、旧名是快、
文明十三年八月四日、

531 宗珍、越中人、平氏、是賢与三郎之女中、
同同同、(二宮)

532 宗忠、河州、紀氏、大枝新次郎、賢上可請之、
文明十三年九月十一日、(宗賢)

533 宗心、淡路人、大江氏、淡路殿御内人、江殿、球藏主同道、新左衛門、
文明十三年十月十三日、(細川政基)
(天孫宗忠)

534 宗本、津州堺南庄女、辻助五郎母、道祐女中、
文明十三年十一月十一日、(宗秀)

535 宗円、若狭州、源氏、若狭二郎太郎、順書記姪、
同十二月七日、(宗順)

536 宗浄、孫三郎女房、
同十二月九日、(多賀経孝)

537 宗珠、与一殿乳母、
同十二月廿四日、此日江州下向、(多賀経孝)

538 宗正、豊州女房達、治部卿、
同同同日、(多賀高忠)

539 宗信、同同女、春日、
同同同日、

540 宗円、尾州人、源氏、弥四郎、日光寺請之、
文明十四年二月廿日、

541 宗善、枕雲齋被官、小四郎、今作僧、
同三月三日、(宗玄)

542 宗運、河州居住、山本次郎左衛門、小島同道、畠山中書被官、
文明十四年三月十八日、(元運)

543 宗玄、平安城人、藤氏、匹田備後、飯尾太和殿御内人、
同三月十九日、(元運)
(ヒキノ)

544 宗林、山城州人、源氏、旧日為律、改作禅、上野刑部少輔殿之子、又四郎殿弟、
文明十四年六月一日、居海雲庵、(上野政基)

545 宗喜、山城州女、中村桂方舍弟与七之内方、藤氏、
文明十四年六月二日、

546 宗欽、山城州人、藤氏、中村親類、石部与四郎、
同同同日、

547 宗栄、太和州人、彦四郎、深草之与四郎同道、
文明十四年七月十三日、(次)

548 宗久、堺、田中隼人之女中、(祖庭宗也)可竹請之、道号遠溪、
文明十四年八月廿日、(五年正月廿日)

549 宗寿、江州、源氏子、木村弥三郎之子息、作喝食、在当院、
文明十四年八月廿二日、

550 宗菊、参州人、源氏女、寿久庵同道、海部孫二郎殿之女中、
同年九月十二日、東条宗竹息女、旧一休弟子、名八友珍、

551 宗因、淡州人、藤氏子、淡路殿、塩田殿被官、西村孫三郎、作僧、
同年小春十三日、(中村宗成)
(宗成)
(宗成)

552 宗明、堺人、三郎兵衛息女、道号月窓、
同同同日、

553 宗員、江州人、源氏子、京極一家鏡殿舍弟、随宗信落髮、
文明十四年十一月七日、

554 宗沢、江州人、源氏子、中村、同、大■比丘尼父、
同同同日、(崇福庵同道)

643 宗忻、津州天王寺、土師氏、源左衛門子息同道、
文明十八年十一月一日、

(437) 644 宗悦、泉州、藤氏子、同源左衛門同道、堺北庄人、
同同同、

645 宗勤、津州人、源氏、珪書記引導、在当院、
文明十八年七月七日、

646 宗珠、江州、藤氏、北村彦六、恩知客請之、
同八月十五日、

647 宗瑞、淡路州、源氏、淡路三郎殿御息、喝食、
文明十八年八月晦日、

648 宗清、文明十八年九月廿四日、光侍者姉之下女、自丹後上洛請之、

649 宗松、若州、藤氏、武田速見一家、温科殿子息、川藏主需諱、
文明十八年十一月九日、

650 宗栄、平安城、源氏女、大炊、青蔭庵同道、三人同道、
文明十八年二月三日、

(437) 651 宗音、アチヤク、女房達、
同同同、

652 宗殊、アココ、同、
同同同、

653 宗福、丹波州人、源氏子、九郎殿御内人秋場寄子、足立孫三郎、
文明十八年臘月十九日、就岳藏主請之、

654 宗徳、丹後州、大江氏子、竹藤殿舎弟、
同蜡月廿一日、

655 宗繁、津国小守護代四宮四郎寄子、名字ハ、河面河本、本ノ名字溝杭、
文明十九年九月十九日、

656 宗清、山城州、平氏女、若宮、崇福庵同道、
文明十九年正月廿七日、

657 宗紘、雲州人、源氏子、大徳寺維那、実伝伝達、
文明十九年二月十日、

(447) 658 宗賢、丹波州居住、藤原氏、洛藤々兵衛、奉行、物部寄子妹甥、
文明十九年四月廿三日、四宮同道、深見同々、

659 宗通、江州居住、源氏、堀部駿州、宗用伝達、
文明十九年七月十六日、

660 紹兀、濃州、藤氏、濟藤弥五郎殿、枕雲居士、
文明十二年八月日、

同道号一如、

661 宗泉、三善氏、飯尾善左衛門、今作出家、
長享元年十月五日、

662 紹宣、築州人、在当院、蕙蔵主口入、
長享元年十月日、

663 宗竺、濃州居住、源氏、承国寺門徒僧、全盛改作宗、官ハ蔵主、
長享元年十一月八日、

(447) 664 宗佐、江州人、平氏、堅田、旧名説、改作佐、蔵司、在当院、
長享元年臘月廿成道日、

665 宗久、江州、藤氏女、祥光院比丘尼喝食、熊谷一家、
長享元年臘月十五日、

666 宗栄、石州人、藤氏、波多野殿、本姓ハウツミ、丹波タキノ郡ノ御代、
長享元年正月十日、津田方同道、翺侍者旦那、

667 宗岳、尾州居住、藤氏子、清心庵、旧日正翁弟子、改請諱、
文明十年二月上休日、

668 宗林、山城州、平氏女、曇花院喝食、松田对馬養子、
長享二年二月五日、

669 紹珍、越後州、大江氏、津田殿拳達、改道珍作紹珍、后又改作宗珪、
長享二年二月十八日、

670 宗智、山城州人、藤氏女、慈田庵妹、
同同同、

(457) 671 宗俊、津州人、平氏、中川民部、的庭備中入道被官、興聖院引導、
長享二年二月二十二日、

672 宗寿、長享二年二月廿九日、
長享二年二月廿九日、

673 宗忠、撰津州居住、藤氏子、中村孫四郎殿子、兵衛殿孫、
長享二年三月五日、

674 宗幸、泉州、藤氏子、同孫四郎殿女子、
同同同、

675 宗円、津州、藤氏子、北庄助右衛門、宗椿内孫、大機引導、
長享二年三月四日、

676 宗栄、泉堺、小次郎子息、
長享二年三月日、

677 宗昌大姉、堺、安心請之、
同同同、

(457) 678 宗祐、御器屋与五郎、
同同同、

679 宗清、天王寺、誂上司請之、
同同同、

680 宗金、御器屋内方、

681 宗歆、八文字屋子息、千代松、

682 宗智、木村藤右衛門入道請之、大師、

683 宗祐、同前、大師、

684 宗円、助右衛門、宗折舎弟、在前丁、

685 宗清、堺英侍者姉、住中嶋、

686 宗忠、和氣屋、中村孫四郎息女男、在前丁、

(46才) 687 宗俊、紺屋道沅孫、

688 宗信、又七請之、信女、
(船屋宗盛)

689 宗寿、与五郎子息、

690 宗慶、紀七掃部息女三人、

691 宗光、同、

692 宗祐、同、

693 宗真、又七内方、

694 宗全、(船屋四郎)又七舍弟、

695 宗福、豊後屋新次郎子息、

696 宗明、藤次乳母、

(46才) 697 宗珍、天王寺源左衛門入道息男、兄也、
長享二年三月日、道号瑤林、玄濟藏主請之、

698 宗栢、同同、弟也、道号月庭、
同五月十七日、

699 宗材、平安城人、藤氏、本寺大工、
長享二年五月十六日、
(狐雲藤忠)

700 宗頤、堺南庄、慶仲之子息、又七、道号南洲、
文明十九年孟秋日、
(船屋)

701 宗湫、津州人、藤氏、安心庵同宿、旧名周藏主、湫、日本ノ詞ニスマト云、
文明長享二年七月十三日、
湫田ト云名字アリ、

702 宗清、紀州人、藤氏、下京近新左衛門宿所、能画、名式部、東福寺瑞書記同道、
長享二年七月廿六日、

703 宗明、紀州信女、道号月溪、堺阿佐井野式部殿請之、
長享二年七月廿七日、

704 宗芳、摂州人、堺澄心庵比丘尼喝食、同、
同同同日、

(47才) 705 宗清、播州・源氏女、宇野殿母、道号明室、
長享二年九月十四日、

706 宗欲、讃州人、源氏、十河六郎殿、
長享二年十月三日、

707 宗瑞、讃州人、紀氏、十河三郎、
同日、

708 宗寛、河州人、橘氏、(天塚宗球)球首座同宿、为沙弥、細川御内人高安口人、
長享二年小春念一日、

709 宗安、山城州人、藤氏女、嶋田宗照之息女、年廿、
長享二年十一月十一日、
(龍岳宗統)鉄藏主伝達、

710 宗椿、淡州人男、
長享二年十一月十九日、球首座伝達、
(享)

711 宗幸、淡州人女、
同年同日、同、
(祖庭宗桓)

(47才) 712 宗竹、津州人、藤氏、宗開第三男、大機庵請之、为其徒、
長享三年二月九日、
(享)

713 宗春、山城州人、平氏、名字者神餘五郎、判門田三郎同道、鎌倉雜事、
植杉殿代官、
長享三年二月廿一日、
(享)

714 宗簡、深草源六、与四郎姪、
同二月廿二日、

715 宗元、山城州人、伴氏、富永弥六殿、出家、
長享三年四月二日、

716 宗琳、平安城女子、源氏、
長享三年四月廿三日、
(京極殿)佐々木大膳大夫殿女子、作比丘尼、

717 宗円、山城州人、名字ハ三木佐脇入道、替阿弥同道、公方奉公、
長享三年四月廿七日、
(サウキサウキ)

718 宗貞、津州・藤氏女、御所女房達、アヨ、
長享三年四月廿七日、
(享)

(48才) 719 宗源、讃州・藤氏、名字中条弥五郎、常住不断□九郎殿前致奉公、
長享三年五月九日、波多野并津田同道、
(享)

720 宗明、泉州男、海部殿伝達、
長享二年六月九日、
(享)

721 宗忠、同前、海部殿伝達、

722 宗貞、同、

723 宗清、同、

724 宗久、同、

725 宗信、賀茂居住女、鴨氏、判門田之イメイ、
長享三年六月十一日、
(享)

726 宗明、山城州女、判門田之女房達、名ハ小大夫、
同年同日、

(48才) 727 宗福、祇園大路春菊ノメイ、寿久庵口入、
長享三年六月十九日、
(享)

728 宗安、山城州人、源氏、
同七月廿六日、
(宗珠)珠藏主引薄、名字飛森新左衛門殿、
(トヒノモリ)

729 宗椿、山城州女、藤氏人、般都寺伝達、
長享三年八月十六日、

730 宗秀、御コ、京極殿女房達、
延徳元年十月五日、
(東雲宗忠)岳藏主口入、
(四八九)

731 宗蕃、濃州女、曇花院喝食、岳上可伝之、
延徳元年臘八日、

732 宗朝 (東海)
淡州人、源氏、当院僧、朝上司、
延徳初元十二月廿七日、
（宗朝宗熙）

733 宗栄
山城州人、藤氏子、四宮養子、岳蔵主同宿、
延徳二年二月二日、
（宗栄宗熙）

734 宗了、
上様（日野宮）女房達、京極殿、賀茂女、
延徳二年二月十七日、

735 宗突、
広沢、鎮雲庵、改宗栄作宗突、
延徳二年三月三日、
（マ）

736 宗寿、
山城州、橘氏男、嫡子、中村左近将監殿、本首座同道、
延徳二年二月廿九日、阿母同道、桂芳妹也、
（安禪寺）

737 宗徳、
同女子、兄弟也、
同同日、

738 宗祐、
同女子、兄弟也、
同同日、

739 宗茂、
阿州、藤氏女、海部孫右衛門殿女子、見好ノ女中、
延徳二年三月三日、
（祖庭宗熙）

740 宗松、
山城州人、秦氏子、親世座、小次郎、親世指繼、弟也、
延徳二年六月九日、四宮口入、深見殿同道、
（親世信光）

741 宗臨、
土佐州人、源氏、太平被官、井礮（イセキ）、画師式部入道同道、
同同日、

742 宗照、
尾州、平氏女、岳上司伝達、
同同日、

743 宗忠、
京極殿、佐々木治部少輔殿、大膳大夫殿子息、
延徳二年七月十日、
（京極政経）

744 宗安、
藤室与四郎、備前守子息、
同同日、

745 宗悦、
正田孫二郎、
同同日、

746 宗照、
筑州博多人、小田掃部、牧蔵主同道、需道号、々日月心、有偈、
延徳二年八月廿八日、同女中道号明窓、有偈、
（筑）

747 宗穎、
筆工祐穎、彦三郎、翔侍者引導、
同王八月七日、
（宗穎）

748 宗牧、
若狭人、珠蔵主伝達、
同同日、

749 宗禎、
山城州女、藤氏、比丘尼、不紀年日、妹、首座、

750 宗成、
同、藤氏、同比丘尼、アネ、首座、

751 宗祐、
山城州、藤氏男、家賀（ヤカ）、カスエ（カスエ）主計、洛中ノ歌手、中村与次口入、宗得同道、
延徳二年十二月十一日、

752 宗歆、
播州居住、源氏、衣笠助四郎、赤松殿左右近侍、宗用伝達、
延徳三年正月十三日、
（能親）
坂戸、改名字、作别所新九郎、
（貞正）

753 宗盛、
江州人、藤氏、諸川（モロカハ）、六角方伊庭寄子、琛首座口入、
延徳三年正月廿六日、

754 宗円、
江州人、源氏、木村、同琛首座吹奏、
同同日、

755 宗存、
河州、藤氏、虎菊、猿楽、長命大夫、琛首座請之、
延徳三年二月七日、与四郎（宗賢）、

756 宗峻、
津州、橘氏、旧名幸侍者、改作峻、当院僧、
延徳三年二月八日、日照弟子、
（宗光）

757 宗心、
濃州人、大中臣氏、就挺虚請之、道号無伝、改旧諱作此、
延徳三年三月廿八日、名字ハ衣斐筑後入道、
（実伝宗熙）

758 宗範、
山城州、紀伊守、山本、賀茂氏、判門田殿乳母請之、
山城州、同山本、賀茂氏、新三郎、乳母ノ孫同道、
（宗範）

759 宗玖、
山城州、同山本、賀茂氏、新三郎、乳母ノ孫同道、
延徳三年四月廿一日、同幸永信女需持下火、
（宗賢）

760 宗勝、
播州人、藤氏、喜多野孫右衛門殿、就挺虚請之、改旧名、旧ハ一休弟子、
延徳三年五月十五日、
（宗明）

761 宗師、
山城州人、藤氏、泉界中坊之子、与三、旧童名ハ座主、
延徳三年六月九日、

762 宗悟、
江州女、木村孫三郎殿女中、寿侍者舍兄ノ女中、有持下火、
延徳三年六月廿七日、道号相庭、

763 宗忱、
津州人、藤氏、池田一族、飯尾太和殿養子、為聖道、宗元同道、
延徳三年七月十八日、般都寺引導、
（宗元）

764 宗心、
河州女、秦氏、宗突慈母、与四郎同道、
延徳三年八月四日、

765 宗善、
山城州人、藤氏、藤氏部殿第二子、般都寺同道、
延徳三年八月廿三日、
（致盛）

766 宗信、
山城州女、今宮別当女中、岳蔵主引導、
同九月三日、
（宗信宗賢）

767 宗円、
津州人、藤氏、中嶋浜入道殿、般都寺請之、
延徳三年九月十五日、

768 紹麟、
和州人、藤氏、董蔵主引導、成蔵主同宿同道、
延徳三年十月廿四日、

769 宗九、
山城州人、藤氏、安禪寺旭首座請之、男喝食親類、
延徳三年十月廿六日、

770 宗因、
山城州、平氏女、通玄寺芳立庵喝食、忻首座親類、
延徳三年十一月十九日、

771 宗喜、
平安城男、藤氏、田中七郎左衛門殿子息、五歳、
延徳三年十一月廿七日、崇福庵宗徳同道、
（宗光）

772 宗成、
山城州人、藤氏、小泉新二郎真清、大徳寺維那同道、
延徳三年仏成道日、故諱曰宗成、
（宗成）

773 宗恩、
摂州、弓削氏女、比丘尼喝食、木村宗津請之、
延徳四年三月廿七日、

774 宗林、
同、同、同、
同年月日、

775 宗津、
木村宗繁、改作津、木村、
文明二年二月日、
（宗津）

- (58材)
- 853 宗光^(月遊)、本一一、源氏、山名殿内、松田十郎、
- 852 宗椿、本州人、源氏、細川殿内鴨居殿息女尼、
- 851 宗因、摂州一、尼崎比丘尼、
- 850 宗盛、泉堺一、澄心庵比丘尼、
- 849 宗得、摂一一、晚出家、
- 848 宗椿、本州人、同、
- 847 宗亘^(吉遊)、江一一、源氏、
- 846 紹隣、雲州人、藤氏、
- 845 紹堅、本州人、聴叫、
- 844 宗昌、江州人、晚出家、
- 843 宗安、摂一一、細川殿家人、溝榎、
- 842 紹啓、濃州一、
- 841 宗玉、摂一一、尼崎比丘尼、
- (57材)
- 839 宗源、摂一一、同前、千野弥六、^(チノ)
- 838 宗泉^(清心)、摂一一、細川殿家人、甲斐沼左京進、^(右九)
- 837 宗昌、同前、嫡女、
- 836 宗光、摂一一、同前女中、
- 835 宗円、摂一一、源氏、小室、
- 834 宗鉄、濃州人、飛彈瀬三郎奉公人、
- 833 宗元、本州人、中院殿原、与三、
- 832 宗意、備州人、山名^(政清)大夫殿々原、
- 831 智全^(功性)、本一一、藤氏、同前、
- (57材)
- 829 宗昌^(泉)、本一一、女子、
- 828 宗昌、本一一、尼、
- 827 宗空、本州人、晚出家、当院掛錫、
- 854 宗乾、丹州人、
- 855 宗寿、泉堺人、晚出家、
- 856 宗恕、江州人、
- 857 宗源、賀州人、源氏、結城四郎左衛門、
- 858 宗珍、本一一、同前女中、
- 859 宗牧^(東送)、筑前一、明応四年二月、
- 860 宗度、摂州一、晚出家、
- 861 宗通、若州人、
- 862 宗見、濃州一、藤氏、鷲見彦九郎、
- 863 宗繁、本州一、^(佐久良)サクヲノ子、明応五年二月廿五日、五歳、
- (58材)
- 864 宗広、江州一、源氏、尼、
- 865 宗運、本一一、始真言宗、
- 866 宗悟^(徹叟力)、江州人、源氏、
- 867 宗貞、江州人、尼、
- 868 宗繁、讚州一、
- 869 宗寿、讚州一、
- 870 宗桂、江州一、紀氏、
- 871 紹伯、防州一、源氏、
- 872 宗林^(春英)、津州一、源氏、瓦林出雲息女、楨三郎妻、
- 873 宗永、同前、女房達、
- 874 宗鷲、但州人、藤氏、改関、
- 875 宗久、摂一一、泉堺尼宗立ノ比丘尼、
- (59材)
- 876 宗心、摂州、葉師寺芸州ノ家人、又三郎、^(長盛)
- 877 宗因、和州人、向陽庵同宿、比丘尼、
- 878 宗珠、平氏、長塩修理、^(悦送)号宝珠、
- 879 宗恣^(悦送)、丹州人、

- 880 宗郝、豊後人、号惟翁、
 881 宗歆、摂州人、晚出家、
 882 宗円、小野村人、与四郎、
 883 宗歆、同前、新九郎、
 884 宗久、同前、三郎四郎、
 885 宗源、同、四郎三郎、
 886 宗秀、摂州尼崎、佐野又四郎、
 887 宗芳、摂州十松、渡辺三郎衛門、
 888 宗琳、摂州海崎、湯浅与七、字瑞岳、
 889 宗栄、同女房、字春林、
 890 宗金、摂州十松、甲斐沼（清心宗泉）右京進女房、
 891 宗徹、泉堺、野遠屋十郎、
 892 宗云、同、栢屋子、長松童子、
 893 宗貞、同、八文字屋弥五郎女房、字松漢、
 894 宗益、同、藤五郎、
 895 宗春、同、女房、
 896 宗讀、本州人、
 897 宗寅、丹後人、平氏、
 898 宗金、摂州海崎、湯浅新五郎、
 899 宗長、同同、
 900 宗祐、丹波人、ヨシミ（吉見）、
 901 宗勝、同、トタノ弥二郎、
 902 宗鑑、若州人、温科又九郎、
 903 宗現、本州人、
 904 宗養、摂州人、
 905 宗舜、同、堺長慶寺住侶、
- (60才)
- 906 宗松、若州人、
 907 宗秀、本州人、中尾、
 908 宗深、摂州人、久々智掃部、
 909 紹性、越後人、
 910 宗悦、江州人、朽木人、
 911 宗東、本州人、（東漢宗牧）牧首坐同宿、
 912 宗盛、本州人、片岡孫九郎、
 913 宗本、泉堺、宗泉養子（高石屋）、与三、
 914 宗盛、江州人、田辺孫太郎女中、（親家）、
 915 宗祥、同、
 916 宗繁、山城人、前田殿女中、
 917 宗栄、改鋭、本州人、
 918 宗光、本州人、芳林庵同道、女房、
 919 宗心、同、女房達、
- (61才)
- 920 宗永、摂州人、木村比丘尼喝食、
 921 宗光、阿波人、飯田藏人、
 922 宗恩、大津寿春庵尼喝食、
 923 宗金、大津真通庵尼喝食、
 924 宗活、斎藤又三郎殿、
 925 宗江、江殿、
 926 宗繁、泉堺、網屋与四郎、号栄久、
 927 宗昌、同女房、
 928 宗源、本州人、サワノ孫四郎、
 929 宗清、同、宗源知人ノ女房、
- (61才)
- 930 紹珊、江州人、
 931 宗恕（忠應）、本州人、上野殿、
 932 宗應（高長）、同、

- 932 宗光、丹州、吉見殿ノ子息、
- 933 宗心、同、宗光ノ母、
- 934 宗昌、本州人、安芸左京佐、
- 935 宗恩、同、田中新左衛門息女、稟首坐ノ喝食、
- 936 宗球、江州人、河副源五、
- 937 宗瑞、同、
- 938 宗珠、江州人、京極殿女中、
- 939 宗本、摂州人、善次郎子息、亀千代、十歳、
- 940 宗喜、堺北庄、田村善四郎息女、
- (61才)
- 941 宗春、堺、俗人、
- 942 宗英、玉池院比丘尼、
- 943 宗悟、泉堺、池永助太郎、号桃岩、
- 944 宗清、本州人、十河殿女中、
- 945 宗藤、江州人、井口上総、
- 946 宗勝、本州人、服部弥五郎、鹿嶋次男、
- 947 宗玖、撰一、生嶋三郎左衛門、
- 948 宗貞、撰一、清芳庵比丘尼、
- 949 宗川、本州人、香川平五郎殿、
- 950 宗盛、伊賀人、服部太和守、
- (62才)
- 951 宗讚、讃岐人、上田殿、
- 952 宗玄、讃岐人、由佐ノ三郎、
- 953 宗春、江州人、垣見ノ孫左衛門、
カケヒ(基光)
- 954 宗祐、江一、京極殿内、浅井四郎兵衛、
- 955 宗凸、若槻七郎殿、
- 956 宗秀、芳林庵比丘尼、
- 957 宗玉、田辺殿、
- (63才)
- 958 宗托、泉堺、善次郎、
(天植)(箕形)
- 959 宗玖、江州、深尾勘解由左衛門、
- 960 宗本、ハシタ、
- (63才)
- 961 宗春、江州上坂、正林庵尼喝食、
- 962 宗玉、江一、僧、書記、
- 963 宗咄、御前兵庫、
- 964 宗忠、讃州、安富彈正、
- 965 宗了、安富八郎右衛門、
- 966 宗珠、本州、服部息女、
ハツトリノ
- 967 宗堅、安富紀三郎、
- 968 宗光、讃州、寒河左馬尉、
- 969 宗久、阿波ノ女、
- (63才)
- 970 宗徳、佐久良、
- 971 宗秀、同佐久良女中、
(蘭室)
- 972 宗安、同息女、
- 973 宗貞、長塩殿ノ息女、
- 974 宗摺、馬場新次郎、
- 975 宗光、但馬タイノ庄ノ母ノ姉、
(珠林)(田慈)
- 976 宗珍、下京泉屋ノ子、
- 977 紹哲、晚出家、
- 978 宗芳、泉堺、椿首坐同宿、比丘尼喝食、
- 979 宗活、深草、藪四郎次郎、
(劍翁)
- 980 宗照、同女中、
- 981 宗哲、材木屋宗次郎、
- (64才)
- 982 宗円、江州高嶋人、
- 983 宗珠、同前女房、

984 宗久、同同、

985 宗心、西岡女房、

986 宗貞、江州、堅田佐首坐同宿、
（賢叟宗佐）

987 宗秀、田原ノ僧、

988 紹江、江州、晚出家、

989 宗源、撰ノ佐野四郎兵衛、

990 宗越、因州ノ僧、
（元兼）

991 宗雲、飯尾善左衛門、

992 宗三、同子息、

(647) 993 宗勲、泉堺比丘尼、高瀬屋与三親類、
（宗本）

994 宗才、阿州海部ノ比丘尼、

995 宗忻、同同同、

996 宗繁、讃州人、前田殿、

997 宗賢、撰一、福井、

998 宗詮、田原居住僧、

999 宗伯、若州人、畑田長門守、
（ハタタ）

1000 宗勝、若州、逸見兵庫、

1001 宗久、津田与太郎子ノ喝食、

1002 宗廉、若州、内藤佐渡、

1003 宗了、長塩弥五郎、

(65才) 1004 宗勝、北庄、箕形宗閑
（子息、弥三、箕形善次郎）

1006 宗安、宗托二男、

1008 宗秀、北庄、田中隼人、吉松、

1010 宗貞、宗托ノ内方、

1005 宗昌、同、弥三女中、

1007 宗繁、箕形源三ノ子、千代寿、

1009 宗徹、同隼人代官、与四郎、

1011 宗竺、綱屋与四郎子、新三郎、
（宗久宗繁）

1012 宗盛、南庄、河内屋与四郎、
（名字小村、宗五世）

1014 宗伯、北庄、田中源二郎、

1016 宗妙、北一、池永宗永内、

1018 宗珉、南一、田嶋息女、

1020 宗徳、長慶寺ノ僕、

1022 宗清、紙屋彦四郎内、

(65才) 1024 宗円、北一、鉢ノ孫五郎子、
（長寿）

1026 宗安、北一、小坂東屋新五郎、

1028 宗芳、小坂東屋内方、

1030 宗琳、高石屋宗泉水、喝食、

1032 宗心、ノトヤ彦三郎女房達、

1034 宗玉、河内、遍嶋入道、

1036 宗珍、海崎、佐野彦五郎内方、

1038 宗玖、下京、小嶋弥次郎、
（二郎左衛門）

1040 宗祐、下笠女ノ喝食、

1042 宗岳、一色式部少輔殿、
（深泥丸）

1044 宗繁、ミノ口池、開発与次、

(66才) 1046 宗祝、若州、南部掃部、

1048 宗長、長町三郎左衛門、

1050 宗詮、比丘尼、養春院、

1052 宗長、ホツミノ八郎、

1054 宗浄、江州、九里、

1056 宗因、江州、多喜帯刀、

1058 宗松、撰一、富松新五郎、

1013 宗隆、和氣屋ノ喝食、

1015 宗哲、北一、池永助五郎、

1017 宗信、池永助大郎内、

1019 宗賢、同、田嶋二女、

1021 宗珠、北一、紙屋彦四郎、

1023 宗金、南一、柏屋与七、

1025 宗貞、紙屋神五郎内、

1027 宗守、北一、小坂東屋弟、藤五郎、

1029 宗宝、北一、慶雲庵ノメイ、

1031 宗悟、天王寺、柏屋ノイモト、

1033 宗祐、宗閑ノ弥三ノ下女、
（箕形、子脱丸、宗勝）

1035 宗昌、海崎、湯浅七郎、

1037 宗登、同、佐野孫三郎、

1039 宗永、四郎女房、

1041 宗泉、直指院尼、号清月、

1043 宗関、遠藤弥五郎、

1045 宗尊、若州、久村三郎、
（深泥丸）

1047 宗光、奥州女房、

1049 宗勝、長町孫五郎、

1051 宗了、本州人、
（天竺）

1053 宗竹、江州、中江弾正、
（繁）

1055 宗慶、堀二郎左衛門、

1057 宗勝、播州、浦上被官、井口、
（智恵）

1059 宗鶴、江州、荒見、

- 1060 宗慶、撰一、平野新二郎、
 1062 宗長、若一、粟屋下総、
 1064 宗栄、藤岡后室、
 1066 宗善、若槻源二郎、
 1068 宗真、阿州、海部殿息女、喝食、
 1070 宗光、木村、俗人、
 1072 宗永、播州、井口披官、佐那木、
 1074 宗繁、撰一、狛三郎、
 1076 宗善、撰一、狛弥七、
 1078 宗了、本州人、
 1080 宗心、夜久、三郎衛門、
 1082 宗泉、京極殿内、若宮ノ、
 1084 宗広、若州人、鳥羽孫衛門、
 1086 智永、大徳寺堂弟、
 1088 宗徳、板坂、医師、
 1090 宗玖、堺、ヒクニ喝食、
 1092 宗春、堺、宮ノ源三郎、
 1094 宗本、堺北、山本彦三郎、
 1096 宗林、同北、昌上主知人女、
 1098 宗秀、堺北、ナヤノ与太郎女房、
 1100 宗保、堺南、泉屋掃部女房、
 1102 宗安、堺、和気屋子、千春、
 1104 宗明、堺南、八文字屋、弥九郎、
 1106 宗堅、堺南、河内屋与四郎女房、
 1108 宗永、撰一、小寺与太郎、
 1103 宗光、丹州人、田辺与七、
 1105 宗藤、藤岡小次郎、
 1107 宗勲、四郎二郎子、
 1109 宗久、播州、井口新右衛門、
 1110 宗兼、同、名村、
 1111 宗清、安富紀三郎女中、
 1112 宗音、丹後人、
 1113 宗珍、清芳庵小比丘尼、
 1114 宗永、夜久三郎衛門子、
 1115 宗珍、京極殿内、矢嶋善次郎、
 1116 善順、下京、比丘尼喝食、才上主取次、
 1117 宗功、堺、八文字屋、石原弥五郎弟、
 1118 宗旭、堺、ヒクニ喝食、
 1119 宗周、堺、小村与四郎子、
 1120 宗玖、同、宮ノ新五郎、
 1121 宗春、堺北、淡路屋与七、
 1122 宗貞、同、昌上主知人女、
 1123 宗瑞、堺北、紙屋彦四郎女房、
 1124 宗慧、堺、ヒクニ、
 1125 宗意、堺、高屋又六女房、
 1126 宗本、小林弥六、
 1127 宗勲、堺南、柏屋宗頼ノメイ、
 1108 宗岳、堺南、宗台嫡子、源四郎、
 1110 宗心、泉州、近木又次郎、
 1112 宗心、堺北、大機又五郎乳母、
 1114 宗盛、津田与太郎子、
 1116 宗円、撰州、石浦平四郎、
 1118 宗繁、本州人、内海弥三郎、
 1120 宗眼、伊豆人、
 1122 宗快、伊勢人、号活叟、
 1124 宗因、伏見、津田女、
 1126 宗節、堺北、妙瑞菴ヒクニ喝食、
 1128 宗金、阿州人、次郎太郎、
 1130 宗久、同前、与三、
 1132 宗巖、雲水ノ僧、
 1134 宗徹、阿州人、松尾、
 1136 宗心、西山妻ノ女房達、
 1138 宗久、琳上主ノ弟子ヒクニキ、
 1140 宗秀、西宮代官飯田藏人内方、
 1142 宗淑、堺南池永左京亮ノ、
 1144 宗玉、海崎、乾徳庵カシキ、
 1146 宗無、江州、小西、
 1109 宗勝、河州、草部民部、
 1111 宗心、紀州人、堺ニテ入道、
 1113 宗悟、堺南、天王寺屋又次郎、
 1115 宗芳、撰州、与田与四郎、
 1117 宗徹、本州人、富松又次郎、
 1119 宗活、伊豆巢雲の子、新九郎、
 1121 宗方、石山之僧、
 1123 宗春、撰州人、宗意ノ母、
 1125 宗栄、伏見、津田与太郎息女、
 1127 宗昌、阿州、逸見兵庫、
 1129 宗勝、同、次郎五郎、
 1131 宗繁、同、与四郎、
 1133 宗泉、阿州人、逸見二郎四郎、
 1135 宗貞、本州人、安房殿内西山妻、
 1137 宗繁、阿州、三好依子、坂東八郎、
 1139 宗堅、宝鏡寺ノ喝食、
 1141 宗繁、川津馬五郎、
 1143 宗元、撰州、ヲク田ノ孫三郎、
 1145 宗秀、津田与太郎息女、

〔永正四丁卯四月八日亥刻示寂〕